



御嵩建築

雨楽の家
URAC MODERN

casa carina



御嵩モデルハウス



木の郷ぎふの家 御嵩建築 の住まい創り新聞

Vol.62

今回のテーマ
現場レポート

名作「走れメロス」実は、ほとんど歩いてきたことが判明

現場レポート

◎御嵩町U様邸 新築工事

- ・お引渡しを致しました。
- 末永く、お住みください。
- 我が子をよろしく願い申し上げます。

◎可児市A様邸 新築工事

- ・良い天気ですね(^^)

◎可児市H様邸 新築工事

- ・足場が外れました。

◎土岐市Y様邸 新築工事

- ・基礎工事が始まりました。
- ・基礎工事、進行中(^^)
- ・基礎コンクリートを打っています。
- ・基礎工事が完了しました。

◎土岐市T様邸 新築工事

- ・測量します。

◎御嵩町K様邸 リノベーション工事

- ・もうすぐ完成します(^^)

中学生職業体験よく頑張りました。



【当社ホームページより抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】

名作『走れメロス』。実は、ほとんど歩いていたことが判明！

『走れメロス』

文豪・太宰治が書いた、有名な小説です。

その作中、

『メロスは親友のセリヌティウスを救うため、 全力で走った』

という描写がありました。

しかしこの度・・

なんと、それが**ウソ**だということが、判明しました。

一般財団法人 理数教育研究所が開催した

「算数・数学の自由研究」作品コンクール。

そこで入賞した「**メロスの全力を検証**」という

研究結果がとても興味深いです。

研究を発表したのは、中学2年生のMくん。

彼による検証では、

太宰治の小説「走れメロス」の記述を頼りに、メロスの平均移動速度を算出します。

その結果、「メロスはまったく全力で走っていない」という考察に行き着きました。

分かりやすく表現すると、

メロスは**往路は100%歩き**、

「死力を振りしぼって走った」とされる**復路後半の奮闘も「ただの早歩きだった」**ということです。

感動的な話の裏側は、**道草しながらのお散歩**だったようですね。

メロスは作中、自分の身代わりとなった友人を救うため、王から言い渡された3日間の猶予のうち初日と最終日を使って10里（約39キロ）の道を往復します。

今回の研究ではこの道のりにかかった時間を文章から推測。

例えば往路の出発は「初夏、満天の星」とあるので0時と仮定、到着は「日は既に高く昇って」「村人たちは野に出て仕事を始めていた」とあるので午前10時と仮定して.....距離を時間で割った**平均速度はずばり時速3.9キロ！**

うん、歩いてるね！

また、

メロスは復路の日、「薄明のころ」目覚めて「悠々と身支度」をして出発し、日没ギリギリにゴールである刑場へ突入します。

Mくんは北緯38度付近にあるイタリア南端の夏至の日の出がほしい午前4時、日の入がほしい午後7時と目星をつけ、考察を開始。

復路では途中、激流の川渡りや山賊との戦いといったアクシデントがあり、これらのタイムロスも勘案してメロスの移動速度を算出しました。

その結果、野や森を進んだ往路前半は時速2.7キロ、山賊との戦い後、死力を振りしぼって走ったとされるラストスパートも時速5.3キロと、思った以上にゆっくり！な移動速度が算出されてしまいました。

メロス.....走ってないやん！！！！ ちなみに、フルマラソンの一般男性の平均時速は9キロだそうです。

Topics



11月21日・22日完成見学会

雨楽な家が完成致しました。

御嵩建築が創り上げた、木とシックい家をぜひご覧になってください。
ご連絡お待ちしております。